

工事写真報告書

工事番号 平成 27 年度

工事名 F 様 邸

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 小倉南区 下吉田

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



屋根

この素材はセメント:アスベスト(又は[°]ル[°]繊維)が85:15で作られています。

表面の塗装が新築当時はアクリル塗装を焼き付けており、7年ぐらい経過すると表面の防水効果が低下し、だんだん反りや割れが生じてきます。



屋根

劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っている場合は特に処分費がかかりますので、早めの塗装と維持をお勧めをします。



樋・ダクトカバー

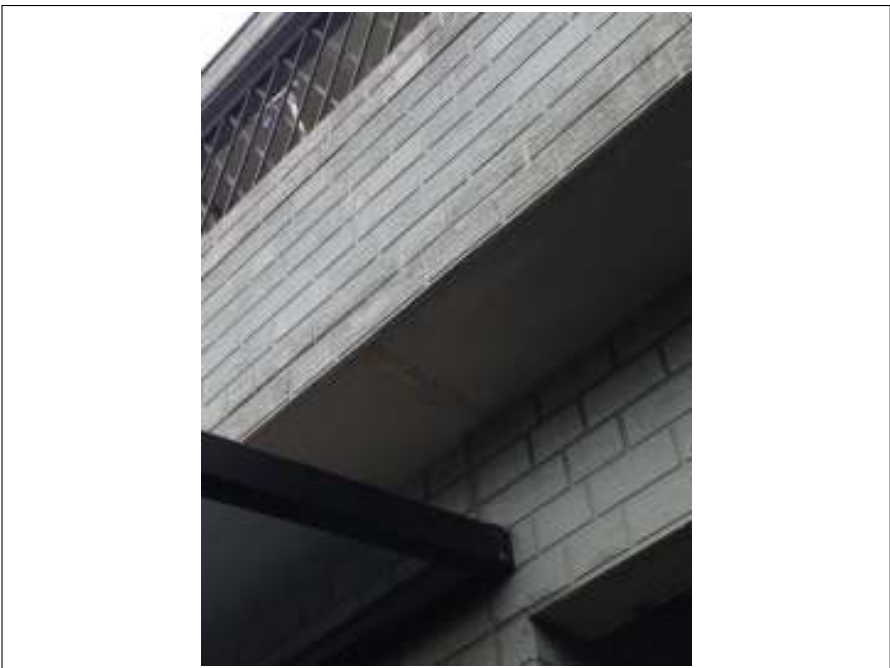
こちらは塩ビ素材になります。劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます



軒天

同上



破風

経年劣化しています。

この部分は劣化が進むと、腐食等が
起こり、塗装で間に合わない場合
が板金補修が必要になってきますの
で、痛む前の塗装をお勧めします。



洞差

また塗膜が剥離をおこしています。
このまま塗装しても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜をケレン作業で除去し、下地補修下塗り・上塗りの塗装をしていきます。



雨戸

この部分は鉄、スチール素材になります。
劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



換気フード

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



小庇

同上



塀 劣化部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



塀 笠木

この部分も塗装をしていきます。

また旧塗膜の剥離が見られますので、ケレン作業が必要です。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をおすすめします。



チョーキング現象

同上



外壁劣化部

外壁の塗膜表面が劣化しております。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 劣化部

同上



外壁 劣化部

同上



外壁 反り

外壁の劣化やクラック・シーリングの傷みが原因で外壁が水や湿気を吸って乾いてを繰り返して外壁が反ってしまいます。

反ってしまうと二度と反りは戻りませんので、反りがひどくなる前の塗装をおすすめします。



シーリング劣化部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや
建物の寿命につながりますので、
シーリング等で補修ををおこない塗
装をしていきます。



シーリング劣化部

同上



外壁 クラック

同上



サッシ周りシーリング劣化部

見落としがちですが、この部分も劣化部はシーリング補修をおこない塗装をしていきます。



シーリング劣化部

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

